ちば修平（しゅうへい） 仙台市議会議員（太白区） 市政報告 Vol.2

日本人のきずなを次世代へ

松下政経塾出身
元全国紙社会部記者

《発行人》ちば修平（しゅうへい）（会派：自民党）
《事務所》
〒982-0807 仙台市太白区八木山南4丁目6-8-C
TEL&FAX：022-796-2570
メール：shuric009@gmail.com
ちば修平公式HP：https://chiba-shuhei.jp

プロフィール
- 昭和50年1月24日生
- 太白すぎのこ幼稚園、仙台市立上野山小卒、市立山田中卒
- 宮城県仙台第一高卒（高45回）
- 北海道大学法学部卒
- 京都大学大学院修了（公共政策専攻）
- 太白消防団八木山分団所属

新型コロナ禍により、厳しい状況が続きますが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。このたび10月7日をもちまして、仙台市議会第3回定例会が終了しました。仙台市政についてご報告させて頂き、希望溢れる仙台の未来を創る一助となれば幸いです。

人々の将来不安を払しょくし、額に汗するまじめに働いた人々が報われ、日本人であることに自信と誇りを持てる社会を、日本人のきずなを、次の世代に「つなぐ」ために働いて参ります。引き続きのご指導よろしくお願い致します。

赤十字など県内3病院連携・統合を協議

仙台市は静観の構え

仙台赤十字病院（太白区）、東北労災病院（青葉区）、県立がんセンター（名取市）の3病院の連携・統合に向けた協議が行われてます。**赤十字、東北労災の2病院が仙台市外へ移転となった場合、市内の救急医療体制や出産・子育て環境にも大きな影響が出ると予測されます。**

この問題が公になったのは、宮城県が8月、総合的ながん治療の提供体制の構築に向け、3病院の統合、連携に向けた協議を始めると正式に発表したためでした。村井知事は「年内に一定の方向性を出したい」と述べ、意欲を示しましたが、一方で、当事者にもかかわらず、仙台市は蚊帳の外に置かれた形になりました。東北大、県とがんセンター、労災、赤十字の「5者協議」には、仙台市はオブザーバー参加すら認められていません。

2病院は市内の2次救急医療の中核を担っています。特に、赤十字は2002年には東北で初の総合周産期母子医療センター（日赤以外は東北大病院のみ）を開設し、周産期医療においても重要な役割を担っており、妊産婦にとっては痛手だと言えます。

令和元年の実績で、救急搬送件数は1750人で、全体の3・6%。分娩の実績は781件あります。また、東日本大震災の際には、地域における救護活動の中心を担い、近年は地域住民と防災訓練にも取り組んできました。太白区民には身近な存在であり、八木山地域のシンボルともいえます。

今回の一連の流れを受け、周辺では動きが騒がしくなっています。富谷市と名取市は統合移転を想定し、誘致に名乗りを上げています。また、太白区の連合町内会長協議会は、「仙台赤十字病院は太白区民になくてはならない地域の核」とし、移転阻止を求める要望書を、郡市長に提出しました。

一方で、肝心の仙台市は、「まずは情報収集に努め、必要ならば県に話をする」（郡市長）との消極的な姿勢のままです。

今後の動きをしっかりとチェックしていきます。

説得力ある反論 早急に示せ

解説

「仙台のまちづくり」の根本を左右する問題なのに、またしても、県の「頭越し」の手法に振り回され、仙台市は今回も「蚊帳の外」というのが率直な印象だ。

宮城県美術館移転、水道事業の民間委託、新宮城県民会館と仙台市音楽ホールの類似施設の問題に加え、今回の3病院統合の問題が加わった。記者会見で郡市長は、影響の大きさを認めつつも、「情報収集に努め、しかるべき時がくれば県に話をする」と話したが、いかにも受け身で頼りなく聞こえる。情報収集云々の前に、まずは仙台市にとって仙台赤十字、東北労災病院がいかに仙台のまちづくりに不可欠であるか、データに基づいた、説得力ある反論を早く示すべきだ。まずは、地域住民と病院側が意見交換をする場を作ってほしい。

仙台市新基本計画 中間案まとまる

仙台市の今後10年間で取り組む施策の方向性を定める、新仙台市基本計画の中間案がまとまりました。中間案では、仙台市の都市個性として、「環境」「共生」「学び」「活力」の4つを掲げています。この都市個性の相乗効果を生み出し、杜の都を新しいステージへ押し上げる、まちづくりの理念として「Greenest City SENDAI」としました。今年度末までにできる完成版に向け、さらなる市民の声を反映し、わがまちの基本計画との意識を持ってもらうよう、内容のブラッシュアップを求めていきたいと考えます。

視点

- 「わが街への誇り」、すなわち「シビック・プライド」こそが、魅力的なまちづくりの原動力となる。そのためには、より野心的な目標「ムーン・ショット」を取り入れるべき。
- 「都市経営」ができる人材育成に投資を。
- 市民への「新基本計画の理念」の浸透に工夫を。
- 女性の活躍、子育て支援にもっと力を。

議会報告

補正予算案など21議案を可決

仙台市議会

仙台市議会令和2年第3回定例会（9月定例会）は、新型コロナ対策などに係る28億2200万円を追加する2020年度一般会計補正予算案のほか、生出小赤石分校（太白区）を廃止する条例改正案など21件を原案通り可決、令和元年度決算7件を認定しました。意見書案2件も可決しました。

補正では、本市でも新型コロナのクラスター発生が確認される中、初期救急医療体制の強化、感染防止対策を実施する事業者に対する奨励金の支給などの経済対策、私立小中高等学校の学びのICT活用推進などを計上しました。

意見書は新型コロナで悪化する地方財政の税財源確保、防災・減災や国土強靱（きょうじん）化の3カ年緊急対策の延長と拡充などを国に求めました。

国分町でPCR検査

仙台市は、仙台最大の繁華街である「国分町および周辺地域」の飲食店約420施設の従業員を対象に、無料のPCR検査を実施しました。計4日間で209人が受け、全員が陰性でした。

市当局は「無症状感染者が蔓延している疑念もあったが、そのような状況は確認されなかった。ただ、このエリアでは集団感染が起きており、安心できる状況ではない」と分析しました。

修平抄

今回の新型コロナ禍は、「東京一極集中」のリスクと、重要物資のサプライチェーンを中国に依存することの脆弱性を明らかにしました。首都直下地震や激甚化する自然災害のリスクも指摘されている中、わが国は、各地域が強靭な社会基盤を持つ、分散型の国づくりへと向かう、新たな時代に入りました。

仙台市の成長戦略には、次世代放射光施設を核としたリサーチ・コンプレックス形成を軸に、ピンチをチャンスに変える大胆な発想を求めたい。また、国が進める、人工知能やビッグデータを活用した最先端都市「スーパーシティ」構想への立候補も視野に入れるべきだと考えます。

西に目を向ければ、東京、大阪間を67分でつなぐ、リニア中央新幹線の開通が進んでおり、この結果、「東京・中部・関西」の人口計7000万人のスーパー・メガリージョン地域ができあがります。それほど遠くない時期に、東北が取り残されてしまう懸念を持ちます。大きな変革の時だからこそ、「東北を引っ張る」ビジョンを明確に見せ、市民の誇りと士気を上げることが、これまで以上に求められます。

メガソーラー規制条例を

一般質問　令和2年 第三回定例会（9月）

太白区秋保町のゴルフ場「太白カントリークラブ」で2024年、運転開始を目指すメガソーラーをめぐり、住民の反対運動が起きています。背景には国の制度の欠陥があり、仙台市は独自の規制条例を作り、住民の「公共の福祉」を守るべきだと考えます。

太白CC 太陽光発電

パネル放置 ID転売 住民トラブル…

黄色の部分が太陽光パネル＝ブルーキャピタル社HPより

豪雨などにより、太陽光パネルの飛散や破損が各地で発生しています。その際、使用された鉛、カドミウムなどの有害物質が流出し、土壌汚染や、近くの川の水質汚染を引き起こす可能性が指摘されています。また、飛散パネルで人が感電する可能性もあります。特に太白カントリークラブでは、これまでにもコースの一部が崩れ落ち、補修を繰り返してきました。

②撤退ならパネル放置も

事業者が撤退した場合、膨大なパネルが放置され、その莫大な撤去費用が仙台市の負担になる懸念もあります。実際、東京商工リサーチによれば、2020年1月から7月にかけ、開発業者の倒産が44件と相次いでおり、その背景には、事業計画の甘さが指摘されています。

③ID転売で所有者不明

また、ID（売電権利）は株のように事業者間で売り買いされており、所有者が不明のまま、パネルだけが放置されるケースも出ています。

④観光への悪影響も

太白カントリークラブ近くにある秋保温泉街は、皇室の御料温泉の一つとして位置づけられ、「御湯」の称号を賜り、平安時代に起源を有する宿や江戸時代に創業した老舗旅館が立ち並んでいます。仙台市中心部から車で30分程度と近く、2016年5月には「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が開催されるなど、そのポテンシャルの高さを証明しました。会議とリゾートをセットで楽しめる、仙台のMICE戦略の一端を担うこの秋保・湯元地区に、ゴルフ場ではなく、大量の太陽光パネルを敷き詰めることは、観光戦略の点でも明らかにマイナス影響を与えます。

⑤住民との信頼関係

現状では、事業者と地元住民の信頼関係は構築されておらず、地元では反対の署名活動が始まりました。この事業者は静岡県函南町（かんなみちょう）においても、強引な手法で開発を進め、地元の住民とトラブルになっていると聞いています。

⑥事業者の実態把握を

また、事業者が社会的にもクリーンな会社なのか、行政の責任においてチェックする必要があると考えます。

⑦神戸市は規制条例

同じ政令指定市の神戸市では、条例と施行規則の改正により、大規模な太陽光発電施設について、「施設の廃棄等費用として、事業の工事費5%相当額を施設着工前に金融機関に一括で預入すること。当該預金については市による質権を設定し、行政代執行実施時の保証金とする」「損害賠償責任保険への加入」「財務諸表の提出」「施設基準の強化」を決めました。改正条例・改正規則は今年の10月1日より施行されます。また、条例では、太陽光発電所の許可申請が必要な区域や禁止区域の概要も示しています。

⑧「外資系」参入も

今後も、太陽光パネルの低価格化が進めば、メガソーラーの設置が続く可能性があり、また、外資系の企業の参入も考えられます。国の規制が間に合っていない実態を踏まえ、本市は先進的な規制条例を作ることを視野に入れるべきです。

詳しい一般質問や質疑は　仙台市議会インターネット議会中継

決算等審査特別委員会

八木山中体育館改修に遅れ

問　仙台市立八木山中学校の校舎の大規模改造事業についてお聞きします。昭和48年に建設された同中学校校舎は、平成30年に大規模改造事業が行われた反面、同じく、昭和49年に建設された体育館の改修工事が行われない状態が続いており、仙台市の他の学校と比較しても、かなり老朽化が進んでいます。

なぜ一緒に大規模改造がなされなかったのか、理由をお聞かせください。

教育長　学校によりましては、公共施設マネジメントプランにおきまして、校舎と体育館、別の考え方で改修するということでスタートしたものです。八木山中学校の校舎、体育館も、そのような取扱いの中で行ったものですが、私としては、校舎と体育館、共に工事をしたほうが改修の期間も費用も軽減できる実現できると考えています。こうしたことから、現在は、校舎と体育館、基本的に一緒に改修することにしていますが、今、御答弁しましたように、八木山中学校が一時期そういう取扱いでしたので、今後その耐久度とかをしっかり見ながら、改修に向けて取組みを進めてまいりたいと存じます。

答弁

○髙橋新悦・副市長

事業者の実態把握については、制度の目的、趣旨から、限界はあるところですけれども、事業者と住民の方々の合意につきましては、住民意見の把握に努めながら、誠意のある対応を事業者に促してまいりたいと考えています。

条例の制定は現在は考えていません。施設の適正な立地誘導に当たりましては、制度を適正に運用するとともに、森林伐採による自然環境への影響や土砂災害等が懸念される状況も踏まえ、アセスメントの対象要件を今後見直すなど、必要な対応については検討します。

再質問

現状の制度で対応できない場合、新たな枠組みをつくるのがトップリーダーの責務だと考えます。

答弁

○髙橋新悦・副市長

議員がおっしゃることも私も十分理解しています。開始時は良いが撤退時には物だけ残していなくなるという。ただ、この件に関しては、宮城県の大規模開発指導要綱でもそういうものを防ぐというんですかね、積立てを行わせるという制度がありまして、ただ今回のことは多分対象になっていないと理解しています。

ですから、今後考えなきゃいけないのは、永続的な事業だというふうに信用して、事業者の方にお任せするということは考えづらいところもありますので、この件に関しては少し考えていきたいなと、確かに思ってございます。

- ●コロナ禍における子供たちのスマホ依存、ゲーム依存の実態調査を。
- ●サイエンス・スクール等で、子どもたちの科学的素養、関心の育成を。
- ●サイエンス・スクール等で、子どもたちの科学的素養、関心の育成を。

陳情

富沢駅西公園 予定地が開放

地元住民の方々から要望を受けていた、仙台市太白区の（仮称）富沢駅西1～4号公園予定地が7月から地域の広場として開放となりました。

コロナ禍で学校休校中、地域の親子の遊び場が減る中、陳情を受けていました。太白区役所公園課と相談させて頂き、6月末に仙台市に管理引き継ぎがされたことを機に、数年後の公園整備が始まるまでの期間、暫定的に開放してもらうことになりました。

緑の気持ちいい公園です。親子連れや地域の方々に多くの思い出を作ってほしいと思います。